

不適合情報

2024年2月29日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	電解鉄イオン注入系ポンプの運転をAからBに切り替えたところ、停止したポンプAの羽根車が逆転したことを確認した。調査の結果、吐出逆止弁の開固着と推定。当該逆止弁を点検・修理。	2024/02/26	
2	2号機	非常用ディーゼル発電機(B)潤滑油プライミングポンプにおいて、潤滑油吸込温度がポンプ停止温度を超えても自動で停止しないことを確認した。調査の結果、潤滑油吸込温度計接点の動作不良と推定。当該温度計を点検・修理。なお、非常用ディーゼル発電機の運転に影響なし。	2024/02/25	
3	3号機	中央制御室において取水電源設備故障の警報が発生し、480V低圧電源盤に零相電圧の発生を確認した。調査の結果、電源引込盤電源回路の絶縁抵抗値が低下していることが判明。当該電源回路を点検・修理。	2024/02/22	
4	その他	可搬型代替注水ポンプ車の始動時に、車両警告灯の点灯を確認した。車両の外観や艀装部(ポンプなど)の動作に問題のないことを確認。当該事象の原因を調査し修理。なお、可搬型代替注水ポンプ車は必要台数を確保しており問題なし。	2024/02/27	